「白石町立小学校再編計画(案)」に係るパブリックコメントに対する対応状況

番号	ご意見の内容	ご意見への対応
1	学校統合は決定事項なのか。住民や保護者の大多数が反対の場合は計画が白紙になることはあるのか。	学校再編については、児童数の減少や住民アンケート結果、町議会での一般質問などを受けて、平成31年4月に各小・中学校区の地域代表者、一般公募者、町議会議員、小・中学校長及び識見を有する者22名で構成する「白石町学校統合再編審議会」を設置し、審議されました。この審議会では学校再編ありきではなく、再編するかしないかの所から審議し「小・中学校を再編することが望ましい」との答申が出されました。そして今回、答申後の想定を上回る少子化の進行やまちづくり等を考慮して答申内容を一部変更した小学校再編計画(案)を作成し、住民説明会を開催しました。計画(案)の作成にあたっては、町長や町議会にも随時、説明し調整を図りながら進めてきたところです。以上の経緯および住民説明会の結果を受けて、計画(案)については概ね理解を得られていると考えています。今後も丁寧な説明を行い皆様の理解を得ながら、住民説明会での意見も踏まえ小学校再編を進めていきたいと考えています。
2	施設、設備は新しいほうが子どもたちも喜ぶだろうが、それぞれに歴史のある学校のどこかをリニューアルするとかはないのか。	白石地域については今ある小学校施設を活用することも検討しましたが、再編した場合、どの学校も 既存施設では足らず、新たな用地取得および増築が必要となります。 また、既存施設の老朽化や今後何十年と続いていく小学校であること、位置のバランス等を考慮し、 適地を選定し新築することとしています。
3	タブレットや英語教育も必要だが子どもは 五感を鍛えるのが大切であり、白石町ならで はの自然を感じられる学校づくりも大切だと 感じる。机に向かうだけが勉強ではなく、虫 や草花にふれあう環境で感性が育まれる。 最新設備と自然と調和した学校設備が必要 と思う。	白石町の大きな魅力の一つは、やはり豊かな自然、農業です。 地域の方々とも連携しながら、自然とふれあえる学校づくりに取り組んでいくことは重要と考えています。これまでのコミュニティ・スクールの取組を継承、発展させ、農業体験や史跡巡りなど地域の方々の協力を得ながら進めていくことも考えています。 学校施設については、これから具体的に検討していきますが、自然との調和についても考慮させていただきます。

番号	ご意見の内容	ご意見への対応
4	学校は少人数クラスが先生の目も行き届くし、友達の仲もよくなると思う。児童数が少ない学校のほうが結束力など強くていいと思う。 小学校の基礎教育が一番大切な時期に統合するのであればデメリットは別でカバーできるようにしてほしい。	少人数クラスにも多くのメリットがありますが、教育委員会としては一定規模の集団は必要と考えています。また、白石地域新設小学校は開校時、大規模校ではなく1学年2学級での開校となり児童数が多すぎるということはありません。 今後の教育においては、子どもたちが自ら課題を発見し主体的に学び合う活動など、協働的な学習を通して意欲や知的好奇心を十分に引き出すことが求められており、学級の児童数が余りにも少ないとグループ分けや協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じるといった課題があります。集団での活動や友達との関わりの中で、同じ考えを分かち合ったり、自分と違う考え方や個性と出会ったりする経験を踏まえ、お互いが切磋琢磨することで社会性を身につけ、ともに成長することができます。 学校再編は、児童や保護者にとって不安もあるかと思いますが、計画(案)にもありますとおり、十分に配慮していきます。「新しい学校づくり準備委員会」等においても、デメリットをカバーできるようにさらなる検討を行っていきます。
5	白石町の学校に行きたい、白石町に住みたいと思ってもらえるような町づくりをお願いしたい。 学校統合の期待や不安に一番接するのは通う子どもたちです。もっと親、子ども、住民に親身になって検討していってほしい。	教育環境の充実と整備を図ることは、子育て世代の方々にとっては定住のために重要なことだと考えており、よりよい教育環境となるよう努めていきます。 今後、「新しい学校づくり準備委員会」等により小学校再編に向けて具体的な検討を行っていきますが、子どもたちや保護者、住民にも協議内容や協議結果について丁寧な説明を行いながら進めていきます。